

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 53番
- *交読文 37番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 175番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 410番
- メッセージ サライ、そしてサラへ(創世記 18:1-5)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 473番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ。喜びの歌声をあげて叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもよりも多いからだ。と主は仰せられる。(イザヤ 54:1)

主は、___を、夫に捨てられた、心に悲しみのある女と呼んだが、若い時の妻をどうして見捨てられようか。と___の神は仰せられる。(同6節)

苦しめられ、もてあそばれて、慰められなかった女よ。見よ。わたしは___の石をアンチモニーでおおい、サファイヤで___の基を定め、___の塔をルビーにし、___の門を紅玉にし、___の境をすべて宝石にする。___の子どもたちはみな、主の教えを受け、___の子どもたちには、豊かな平安がある。(同 11-13 節)

前回主がアブラハムに現れてからさほど時間が経っていない頃、主は、三人の旅人に身をやつてアブラハムの所を訪れた。アブラハムは旅人姿の彼らを見ると、もてなすために走り出て迎え、豪勢な接待をした。その地方ではそうする事が美德であり、それによって、その人やその家の品格が知れるものであった。私達も、世で”美德”と言われるものを、ないがしろにしてはならないし(ピリピ4:8)、主は、幻や奇跡といった「非日常」にしか現れないと思ったら大間違いである。むしろ、主は日常の内に、盗人のように思いがけず現れる(ヘブル 13:2)。実際、アブラハムは知らずに主をもてなし、主からの養いを受けた。

アブラハムが彼らに給仕している時、彼らはアブラハムに尋ねた。「あなたの妻のサラはどこにいますか。」見ず知らずの旅人のはずなのに、「サラ」という、主に与えられたばかりの名を呼んで来たので、彼は驚いただろう。そして、次の言葉は、もっと驚くものだった。「来年の春(直訳:命の時)、わたしは必ずあなたの所に帰ってきます。その時、あなたの妻サラには男の子が生れているでしょう。』(10節)サラは、彼らのやり取りを、後ろの天幕の入り口で、つまり、彼らの背中側から隠れて聞いていた。この時点、サラは既に89歳で、生理はもう止まっていた。ハガルによって生まれたイシュマエルもすくすく育ち、それにひきかえ自分は老いて、子を産む事についてはもはやあきらめ、何もかも置いてけぼりにされたような、卑屈な信仰になっていたのだから。だからこそ、このただならぬ客人の言葉を聞いても、「老いぼれてしまったこの私に、何の楽しみがあるろう。それに主人も年寄りで。」と心で言い、力なく笑ったのだ。しかしその時、彼らは言った。『なぜサラは、わたしは老人であるのに、どうして子を産むことができますかと言って笑ったのか。主にとって不可能なことがありますか。来年の春(直訳:命の時)、定めの際に、わたしはあなたの所に帰ってきます。そのときサラには男の子が生れているでしょう』サラは恐れたので、これを打ち消して言った、「わたしは笑いません」。主は言われた、「いや、あなたは笑いました。』(13-15 節)

主は、信じて歩もうとする聖徒には、「命の時」を備え、帰って来て下さる。その時、人がいかに諦め果てていようとも、いかに絶望していようとも、主が約束して下さったなら、必ず命と喜びと、笑いとを与えて下さる。「あなたの妻サライは、名前をサライ(Sarai)ではなく、サラ(Sarah)と呼びなさい。・・・わたしは彼女を祝福し、諸国民の母とする。諸民族の王となる者たちが彼女から出る。」(創世記 17:15-16)サライも、サラも、両方「王女」という意味ではあるが、前回見たように、名前の最後に「ハーラフ(歩む)」の「ハ」が付けられ、彼女は「ただの王女」から、「主と共に歩む王女」というアイデンティティが付された。しかしながら、彼女は「主と共に歩む王女」とは程遠い心境で、年寄りで見向きもされない、もう何も望めない、みじめな者と自己認識していたために、あの客人達の只ならぬ言葉にも、思わず笑ってしまう程だった。だからこそ主は、わざわざ旅人の姿で現れ、彼女を多くの国民の母として、王女として相応しい信仰者へと整えるためにサラを名指しし、ひと度約束された事を再度、彼女にも直接言われたのではなからうか。こうして彼女は否応もなく信じ、もはや、年齢が盛りを過ぎていたのに、子をもうける力が取り戻され、そればかりでなく、他国の王から召し入れられてしまう程の美貌まで取り戻し(20 章)、約束どおり、彼女から多くの子孫が生まれるようになるのである。(ヘブル 11:11-12)

12-15 節の間には「笑い」というキーワードが、4 回も出てくる。一年後に彼女が産むべき子は「イサク(彼は笑う)」という名前、彼女はイサクの名を呼ぶ度に、この時の出来事を思い起こした事だろう。イサクを生み出す一年前までは、老いて希望も無く、自嘲の笑いしか無かったのに、主は来て、むなしい年寄り女から、主と共に歩む王女へと、信仰を整えて下さり、腹の奥底からの笑いを与えて下さった、と。世の女性が憧れる「王女」は、「サライ」のように、歳を経ると何の喜びも無くなってしまふ。しかし「主と共に歩む王女・サラ」は、いかに八十九歳であろうとも、若く力ある女さえも主にあって出し抜き、自嘲し卑下した笑いを、命の喜びに満ち満ちた腹の底からの笑いへと、造り変えられ、いかに「自分は笑わない」と否定的であろうとも、主は「いや、あなたは笑う」と、肯定して下さるのだ。主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように若くされ、翼をかけて上ることができるのだ。(イザヤ 40:31)サラのように、卑屈な信仰から主と共に歩む王女の信仰へと造り変えられていく皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈禱会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

